



広
報

みしま

1

Jan.2020

No.568



いじめ
根絶標語

○三島小2年 ヴィノクロフ 怜
○大里小1年 平良 裕愛

さっきはごめんね、またあそぼう。なかなかできてうれしいな。
「ありがとう」「だいじょうぶ」にっこりなるね。うれしいね。

恭賀新正

令和二年
西暦2020年
子年



三島村長
大山 辰夫

村民の皆さまには清々しく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

一年の区切りに鳴り響く除夜の鐘はテレビラジオの電波に乗って全国各地から各家庭に届きます。百八つ撞く鐘は、人間のもつ百八の煩惱を鎮めるためと言われています。鐘の音に私は、現代の有り余るモノが人の心までを支配する風潮を自戒し、一年を無事に終えることができた心の安らぎに感謝し、全ての人々がそうであるように新しい年への限りない希望を託します。

昨年は、平成から令和へと元号が変わり新天皇の御即位を日本中が祝福し、新しい歴史の始まりを実感した年でありました。

ラグビーワールドカップでは、日本がベスト8に入る快挙を成し遂げ、その年の流行語大賞に「one team」が決まりました。まさに、本村の村づくりのキーワードになる言葉だと思っています。

また、日米貿易協定が国会で承認され、今年一月一日の発効が決まっています。本村の畜産業への影響について、その動向に注視して対応していくことが求められることから、各関係機関との情報の共有を図って参ります。

一方で、昨年は日韓関係を始め厳しい社会情勢の中で、全国的に記録的な豪雨と台風で前例のない被害を受ける大変な年でありましたが、本村では、台風被害はあったものの、村民の皆さまのご支援とご協力により産業、経済、交通、医療福祉、教育文化の各方面において推進を図ることができたと思っております。

みしま焼酎無垢の蔵が完成し、令和元年という歴史の転換期に、初の島内製造第一号として新酒の発売ができたことは喜びと同時に、可能性を感じました。新酒を祝う会にも、これまでお世話になった多くの関係者の皆さま方にご出席賜り、小さな蔵の門出を祝っていただきました。美味しい酒作り、販売戦略等これらが正念場だと思っています。村民の皆さまにも宣伝していただきますようお願いします。

さらに、今年はいよいよ「2020 東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。昨年はホストタウンとして多くの関連交流事業が実施されました。その中でも、ママディケイタ氏の郷土であるギニア共和国

バランデグ村の子供たち3人、コナクリの青年1人、ママディケイタ氏の息子さん2人の計6人が、本村の子供たちとTICAD（アフリカ開発会議）が行われた横浜から三島村までジャンベを通して交流できたことは、ホストタウンとしての大きな成果だと思っています。特に新天皇皇后両陛下の前での演奏は村や子供たちにとっても記念すべき出来事となりました。今年もホストタウンとしての交流事業は続きます。ギニア代表のオリンピック選手との競技場での応援競技終了後に本村での島民との交流、そして、ママディケイタ氏が来島されて25年目の記念行事等考えています。その後、「燃ゆる感動かごしま国体」が開催されます。県内の43市町村で競技が予定されており、それに向けしっかりと準備して参ります。

そして、唯一の公共交通機関であるフェリーみしまが新船となり就航の年を迎えます。これまでに何度も議会、住民、行政、船員の皆さまと協議を重ねて参りました。本村の未来への夢と希望を乗せての就航となります。村民の皆さまと共に、これから始まる航海の安全を祈念し、初就航を皆さんでお祝いしたいと考えています。フェリーの運航に関して、現在運休している枕崎寄港に新たな動きが出ており、注視して対応したいと思っています。

今年の夏の第24回ミシマカップヨットレースのアトラクションには、大物アーティストの出演も決まっております。大会が盛大に行われることを期待しています。

昨年12月1日の村の人口は364人でした。本村における最大の政策課題は、人口減対策であります。国が推し進める地方創生も見直しの時期にきており、次期地方総合戦略の策定の年になります。しっかりとした戦略を立てて、持続可能な村づくりのため、これまで以上に定住促進を積極的に進めます。

国の内外ともに益々複雑で難しい年になりそうですが、広く英知を集めて村職員と共に先頭に立ち、議会、村民の皆さまとがっちり相携えて幸せの実感ができる村づくりに我慢強く努力したいと念願しております。いつそうのご理解ご支援ご協力をお願い申し上げます。年之初めに三島村のゆるぎない発展と村民の皆さまのご健康ご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。





議長
長濱 義人

あけましておめでとうございます。新年を迎えて、皆さまにおかれましては、それぞれの視点から、次への飛躍の年になるよう準備されるかと拝察いたします。皆さま方に幸せが届くよう心から祈っております。

昨年4月から、議長としての重職を預かっております。まだまだ新米ではありますが、様々なことを経験いたしました。特に感じたことは、人と人の繋がりの大切さです。多くの人と話すことで、視野が広がり、知識も増えてまいります。皆さま方からも、いろいろなご意見を頂き、これからの三島村の発展に貢献できればと思っております。今年は、国勢調査の年であり、人口の増加は村政の課題です。皆さま方の知恵と、呼びかけをいただき、共により良い結果が出るよう邁進したいと思っております。

昨年、いろいろな事業が行われ、三島村の皆さま方が、様々なところで活躍されました。とりわけ、東京オリンピックのホストタウンとして、ギニアの子供たちと一緒に、天皇陛下の前でジャンベを演奏したことは、おそらく子供たちの脳裏に深く残っていることと思います。最高の三島

アピールに繋がったのではないでしょう。ギニアの子供たちを島に招待しての集団宿泊研修も、異文化の子供たちとの交流を通じて、幅広い見識ができ、仲間意識も芽生えたのではないかと思います。4地区の青年会の後援で開催された、ミシマカップも趣向を凝らして、盛大のうちに終了しました。今年は、アーティストを招いての開催が計画されているようです。焼酎工場 無垢の蔵も順調に稼働しています。完成した新酒の発表会でも、値段に負けない評判を得ております。黒島の皆さまが、頑張られたからこそだと思っております。また、黒島で開かれた村民文化祭では、オリンピックメダリストの平山紘一郎さんに講演をいただき、自分の半生を通じての苦難突破について聞くことができました。多くの皆さまの心に刻まれたのではないかと思います。

今年は、新船が完成し、5月頃から運航予定です。スピードアップはそう望めないかもしれませんが、より快適な航海に向けて、欠航や抜港が少ないよう祈るばかりです。さらに今年は、国体が鹿児島で開催されます。本村は、ラジオ体操でアピールします。皆さま方のご理解とご協力よろしく願います。

世間では、自然災害が多発して、その壮絶さに心が痛みます。亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された方々の一日も早い

復旧を祈ります。三島村も、台風の通過地帯で、他人事とは思えません。硫黄島におきましては、噴火警戒レベルが引き上げられて、その推移が心配です。今年は、火山噴火に備えた防災訓練も予定されています。住みやすい村、心温まる村、今こそ、村民一丸で進むべきだと感じております。我々、議員一同も最大限の知恵を振り絞って、皆さまの心に寄り添い共に汗を流し、進んでいく覚悟ですので、皆さま方のご理解とご協力何卒よろしく願います。幸せになるよう祈っております。



教育長
室之園 晃徳

明けましておめでとうございます。皆さまには、令和のお正月を、健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年はラグビーワールドカップに日本中が沸き、流行語大賞も受賞するなど大きな話題となりました。さまざまな国籍の選手が集まった日本チーム。最初はこれが日本チームなのかといぶかしむ声も聞かれましたが、リーチマイケル主将を中心に桜の戦士ONET TEAMとして結束した日本代表の快進撃は、日本だけではなく世界を感動と

熱狂の渦に巻き込みました。その結果、寄せ集めチームと揶揄する声もいつしか聞かれなくなったのです。大方の予想を覆し、強豪国の壁を体当たりで崩壊していく姿。心を一つに「ワンチーム」となれば、奇跡を呼ぶこともできるのではないかと国民に勇気を与えてくれました。

これからの社会は、ダイバーシティ(多様な人材を活用する)社会として発展しなければ持続できないといわれています。正に三島村はダイバーシティに取り組んでいる村ではないでしょうか。「定住」も「しおかぜ留学」も、村の未来をつなぐ生命線ともいえる重要な事業です。全国からいろいろな人材がやってきます。多様性を大いに歓迎し、ラグビー日本代表チームのようにさまざまな人材が心を一つにして未来を開拓していかなければなりません。

今年は、三島村の小中学校が「義務教育学校」として生まれ変わり、コンピュータを活用した授業や教科の学習等を通して4つの学校の連携はますます深まってくることと思います。また、ギニアホストタウンや鹿児島国体への開会式出演に向けて、「ワンチーム」となって取り組み、三島村が元気に輝く飛躍の年になることと思います。三島村の新たな教育スタイルに挑戦する年です。学校・家庭・地域でガッチリとスクラムを組んでトライしていきたいと思います。ぜひよろしく願います。



このコーナーは、ジオパーク推進員 増野雄基がジオパークに関する情報やイベントの紹介を通して、村民のみなさんと一緒に三島村・鬼界カルデラジオパークを盛り上げていこうという不定期連載となっています。

はじめての再認定審査 —審査員の方が三島村に来島されました—



三島村は2015年に「三島村・鬼界カルデラジオパーク」として日本ジオパークに認定されました。日本ジオパークに認定された地域では4年に一度、審査が行われます。その審査の結果によって、2年後あるいは4年後に再び審査が行われることになっています。「審査」と名はついていますが、実際には審査員と地域と一緒にジオパークをより良くするにはどうしたらいいのかを語り合う場にもなっています。今回、三島村を訪れた審査員は、国立研究開発法人 産業技術総合研究所の渡辺真人さん、北海道三笠ジオパークの下村圭さんの2人です。昨年12月3日～5日の行程で3島全てを巡り、現地の視察を行いました。

「ジオ」とは「大地」という意味なので、「地質が目立つところ、鬼界カルデラに関係する硫黄島・竹島だけがジオではないの？黒島は関係ないのでは？」と思う方もいるかもしれません。ですが、現在は歴史・伝統文化などもジオパーク活動の中で非常に重視されてきています。審査員の2人は現地を視察し、住民の方と話をする中で、竹島の石工や黒島の神事、遺跡など、3島それぞれのジオパークの魅力について感じたようでした。

また、現地視察では学校訪問もあり、その際に審査員と生徒の間に次のようなやりとりがありました。

審査員

「10年後、三島村がどうなっていると思いますか？」

生徒

「村の人口もあまり増えず、このまま続いてほしいと思っています」

ジオパークは「持続可能な」ということを念頭に活動しています。上の生徒のように「このまま続いてほしい」という考え方ができるということは、ジオパークの考え方が浸透しはじめたということなのかなと思っています。ジオパークは長期的な視点で活動しているため、その進み具合は体感しづらく、また難しいイメージを持たれている方も多かもしれませんが、住民の皆さんと一緒にジオパーク活動を進めていきたいと思っています。



なお、審査の結果は今年の1月頃に発表される予定です。今回の審査を受けるにあたりご対応いただいた住民の皆さん、本当にありがとうございました。



令和元年度 みしま焼酎無垢の蔵仕込み終了

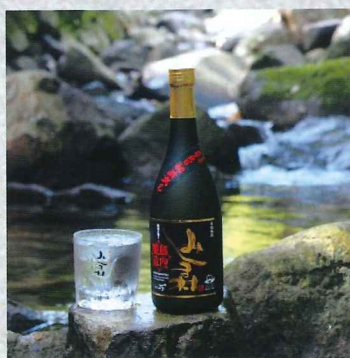
昨年も老人会、農家の方、地域住民の方々に大変お世話になり、ありがとうございました。令和元年度の仕込みも無事に終了し、今回も美味しい芋焼酎を造ることができました。今回は昨年の倍の8千本(720ml／本)の製造が見込まれます。

新酒は今年の5月1日販売開始予定です。今年は硫黄島のサツマイモ「ベニオトメ」で造られたメンドンも販売予定です。お楽しみに。

(定住促進課)



昨年の倍の仕込みで蔵子也大忙し！



「アイランダー 2019」でのジャンベ演奏の様子



新商品も完売しました!!

東京で三島村をPRしてきました

11月、東京で開催された、「アイランダー 2019」と「町イチ！村イチ！2019」に出展しました。これらのイベントは都市部の離島・町村ファンが数万人規模で来場するもので、本村も毎年、村民の方と村職員で参加し、移住・観光相談や特産品販売等でPR活動を行っています。

アイランダーでは数年ぶりにジャンベ演奏を行い、ジャンベの陽気な音色に多くの観客がステージに集まってきていました。町イチ！村イチ！では人気商品の椿油や椿せっけんに加え、新商品の大名筍炊き込みご飯の販売も行い、いずれも即完売する程の賑わいでした。これからも、移住や観光などにつながる『三島ファン』が増えるよう積極的に活動していきます。

(定住促進課)





メンドン登録記念シンポジウム かごしまの仮面・仮装の神々



12月1日、鹿児島市の黎明館でユネスコ無形文化遺産登録記念シンポジウムが開催されました。始めに、作曲家の堅田優衣さんが作詞作曲した合唱組曲「仮面神組曲」が披露されると、会場内にメンドンが現れるサプライズも。会場が大いに盛り上がったところで薩摩川内市、三島村、十島村の3市村の仮面神行事の映像が上映され、シンポジウムが行われました。今回のシンポジウムを通して、鹿児島県民へ広く文化財の素晴らしさを伝えとともに、地域の文化財継承の価値や課題、今後必要なことは何か、考えを深めるイベントとなりました。

みしまのホットな話題

第70回南日本文化賞で 「特別賞」を受賞



11月1日、鹿児島市の城山ホテル鹿児島で南日本文化賞の贈呈式が行われ、硫黄島八朔太鼓踊り保存会の徳田保会長と室之園晃徳教育長が出席しました。南日本文化賞とは、南日本新聞社より学術、芸術、社会活動など各分野で鹿児島の発展に貢献した個人・団体に贈られるものです。第70回となった今回は、4個人1団体が受賞し、特別賞として、「仮面の来訪神（甕島のトシドン、硫黄島のメンドン、悪石島のボゼ）」が選ばれました。今年は、三島村の伝統文化のよさを再認識する年となりました。



三島のさかなについて学ぶ 村内各地区で漁業体験

10月から11月にかけて、村内の小中学校児童生徒、教職員、保護者を対象に漁業体験を実施しました。釣り体験の後、魚のさばき方や塩漬け加工体験を行い、美味しくいただきました。他にも、県内で行われている沿岸漁業で取れる魚種のことや、天候に大きく左右されるため十分に気を付ける必要があることを学びました。体験を通じて子供たちが漁業に興味を持ち後継者が増えていくといいですね。

(経済課水産指導員 南田)





鹿児島地域植樹祭

11月23日、黒島で開催予定であった鹿児島地域植樹祭は、あいにくの悪天候により鹿児島市の鹿児島県民交流センターで式典のみの開催となりました。式典では、村長挨拶や来賓祝辞において森林の大切さやこれからの森林政策、関係者に対する激励などが語られました。三島村へ来島することを楽しみにしていた来賓の方々は残念な面持ちのようでした。

植樹予定であった「オオシマザクラ」と「シャリンバイ」は黒島の子供たちが植えることに。教職員や保護者の方の協力もあり、子供たちも張り切って植樹しました。前日の雨で泥まみれになりながらも楽しく、笑顔があふれる「植樹祭」でした。子供たちとともに苗木も立派に成長してくれることを期待しています。(経済課)

令和2年子牛セリ市日程表

セリ市開催日	出荷申込期限(締切日)
令和2年1月20日(月)	令和元年11月15日(金)
2月14日(金)	12月19日(木)
3月16日(月)	令和2年1月16日(木)
4月10日(金)	2月13日(木)
5月18日(月)	3月19日(木)
6月12日(金)	4月16日(木)
7月13日(月)	5月14日(木)
8月11日(火)	6月18日(木)
9月14日(月)	7月16日(木)
10月16日(金)	8月13日(木)
11月14日(土)	9月17日(木)
12月8日(火)	10月15日(木)

■出荷にあたって

- ・市場出荷申込・資料給与報告書の締切を厳守する。
- ・セリを欠場した場合、再度次回せりで申込をする。
- ・評価牛で出荷する場合は、早めに役場へ連絡を。
- ・適正な日齢・体重で出荷する。
- ・削蹄・手入れは早目に確実に行う。
- ・耳標が脱落したら早目に再発行申請を。

問 経済課

予備自衛官補を募集します 令和2年度採用予定

予備自衛官補とは、一般の社会人や学生といった自衛官未経験者を「予備自衛官補」として公募・採用し、「予備自衛官」として任用する制度です。

■待遇

- ・教育訓練召集中の食事及び宿泊は無料。
- ・訓練で使用する作業服等は無料貸与。
- ・教育訓練召集手当として日額7,900円支給。
- ・自宅から教育訓練実施駐屯地までの交通費支給。

■第1回試験概要

- ・受付期間：令和2年1月6日～4月10日
- ・試験期日：令和2年4月18日～4月22日
- ・合格発表：令和2年5月22日
- ・その他、詳細については下記お問い合わせまで。

問 自衛隊鹿児島募集案内所 ☎099-251-7802

村税納期(第4期分)のお知らせ

税 目	納期限
村県民税 国民健康保険税 介護保険料 後期高齢者保険料	1月31日(金) 必ず期限内に 納付してください。

令和2年1月・2月

みしま出入港・巡回診療日程

※出入便（日帰片道）：鹿児島港9:30発→各港経由→鹿児島港19:50着予定。
 ※10月1日より各種運賃が変更になりました。詳しくはHPをご覧ください。

貨物・自動車航送等のご予約・お問合せ

中川運輸(株)南埠頭事務所

☎099-813-7751

〒892-0814 鹿児島市本港新町6番地
 （みしま旅客待合所・南埠頭3号上屋）

1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
みしま 出入港		出	入	出	入	出		出	入	出	出	入		出	出	入	出	出	入		出	出	入	出	入	出		出	出	入	出
巡回診療 日 程											竹 島	硫 黄 島				片 大 泊 里				硫 黄 島				竹 島	硫 黄 島				片 大 泊 里		
	※1月の担当医は末盛 徹 医師です。また船便により、日程が変更する場合がありますのでご了承ください。																														
来 月 船 便 予 定																															
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
みしま 出入港	出	入		出	出	入	出	出	入		出	出	入	出	入	出		出	出	入	出	出	入		出	出	入	出	出		

謹 賀 新 年



三島村ホームページ



村ホームページを
 ご覧いただけ
 ます。

三島村

検索

人 口 / 364人 (+1)

男性 / 176人 (-1)

女性 / 188人 (+2)

世帯数 / 198世帯 (+1)

(令和元年12月1日現在)

広報みしま第568号1月1日発行
 編集 三島村役場広報係
 〒892-0821
 鹿児島市名山町12番18号
 ☎099-222-3141

12月16日の子牛せり市成績

本村からは、去勢8頭、めす9頭の計17頭を出荷しました。
 総売上は977万6千円（税抜）、登記牛の平均価格は57万5千円でした。

	去 勢	め す
平均価格	68万4千円	47万8千円
前 回 比	8万1千円安	10万1千円安
最高価格	83万8千円	56万1千円
出 荷 者	下村丈晴（黒島大里）	山口美年（黒島片泊）
血 統	松華幸一隆之国一金幸	華忠良一金幸一平茂勝
せりの様子		

次回のせり市は1月20日(月)です。